

# 平成31年度全国学力・学習状況調査における幸田町児童生徒の結果について

令和元年12月

## 1 調査の概要（平成31年度実施分）

- (1) 調査期日 平成31年4月18日（木）
- (2) 対象学年・人数 小学校6年 444名、中学校3年 416名 ※悉皆方式
- (3) 調査項目
  - ① 教科 小学校：国語、算数、 中学校：国語、数学、英語  
※ 中学校英語は本年度実施  
※ 知識・活用を一体的に問う問題形式に変更
  - ② 学習・生活習慣等の状況調査（質問による）

## 2 幸田町全体の傾向について

### (1) 教科の状況

本町児童生徒の傾向について、全国と比較をしました。

#### （全体の結果概要：小学校）

算数については、全国よりよくできています。国語については、努力を要する状況にあると言えます。

#### （全体の結果概要：中学校）

国語については、全国よりよくできています。数学については、全国より大変よくできています。また、英語については、全国とほぼ変わりません。

#### （中学校3年生生徒が小学校6年生であったときとの比較）

現中学校3年生が小学校6年生であった平成28年度と比較をしました。

小学校6年生であったときは、算数の「活用」、国語の「知識」がよくできている状況、算数の「知識」が全国とほぼ変わらない状況、国語の「活用」が努力を要する状況でした。

その児童が中学校3年生となった今年度、国語においては、よくできている状況となっており、数学においては、とてもよくできている状況でした。

小学校・中学校を通じて、子どもが力を伸ばしたことがわかりました。

#### （各教科の学習領域での結果）

全国の状況と比較し、各教科の学習領域で、「よくできていた領域」「課題がある領域」の主な内容を示します。

◎ たいへんよくできている内容	○ おおむねよくできている内容
△ 努力を必要とする内容	

### 【小学校6年生】

国語	△学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 △情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。 △文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。
算数	◎図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる。 ◎示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。 △加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。

【中学校3年生】

国語	<p>◎話の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。</p> <p>◎話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ。</p> <p>△伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。</p>
数学	<p>◎資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。</p> <p>◎簡単な場合について、確率を求めることができる。</p> <p>◎数の集合と四則計算の可能性について理解している。</p>
英語	<p>◎与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。</p> <p>◎日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。</p> <p>△日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。</p> <p>△まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。</p>

(2) 学習・生活習慣等の状況（質問より）

学習・生活習慣（質問内容）と正答率との関係を分析しました。質問内容に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはあまる」とする回答率の高かったものに加え、全国と比較して回答率が高かったものを対象としました。その主な内容を示します。

- 質問内容と正答率の相関関係が見られたもの
- ・質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が高かったもの

(小学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について)

- 朝食を毎日食べていますか
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
- 学校のきまりを守っていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか
- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 算数の勉強は好きですか
- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか
- ・自分にはよいところがあると思いますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか
- ・算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
- ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

### (中学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について)

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日同じくらいの時刻に起きていますか
- 家の人（兄弟姉妹は除く）と学校での出来事について話をしますか
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
- 学校のきまりを守っていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 読書は好きですか
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか
- 国語の勉強は大切だと思いますか
  - ・将来の夢や目標を持っていますか
  - ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
  - ・国語の勉強は好きですか

この分析より、「本町の子どものよさ」としてつぎのような姿が浮かんできました。

- ◎規範意識が高い子ども
- ◎ものごとを最後までやり遂げ達成感を味わっている子ども
- ◎人の役に立ちたいと願う思いやりのある子ども
- ◎地域の人・こと・ものに対して積極的に関わっている子ども

一方で、質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が低かったものとして、次の点が小学校と中学校に共通して明らかとなりました。

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

### 3 調査結果を受けて

この結果は、幸田町全体の傾向であり、各学校によって結果や課題は異なっています。

幸田町全体としては、小学校では、まず、言語についての知識、理解、技能の着実な定着をより進めていくことが必要だと考えます。中学校では、全国よりもよくできている項目が多くありますが、身につけた知識や技能を活かす取組をすることで更に力を伸ばすことができると考えます。

幸田町教育委員会は、これまで通り、町全体の分析結果や指導改善のポイントを、文部科学省配付資料や愛知県教育委員会配付資料とあわせて各校に周知し、授業改善に活かせるようにしています。また、少人数指導や新しい学習指導要領を見据えた授業力向上のための研修など、環境整備も継続して進めていきます。

同時に各学校も結果を分析しています。そして、各学校の課題を明らかにし、子どもの実態に応じた授業改善を図っています。

家庭においては、子どもの学力の状況を知るとともに、普段の生活から見通しをもった取組や前向きな生活習慣の確立を図るなど、子どもが学習に対して意欲をもって取り組むことができるような励ましをお願いします。

この調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学、英語について調査したものです。この調査で測定できるのは、学力の特定の一部です。子どもの学力や生活のすべてを表しているわけではありません。そのことを十分踏まえたうえで、調査結果を今後の指導に活かしていきたいと考えています。

問い合わせ先 幸田町教育委員会学校教育課 学校指導G

TEL 0564-62-1111 (内線424)